

9/26と27日に一般質問 野口・安藤・ひろの3人が質問します

(増永議員は議会選出監査委員のため質問できません)

- 野口ひろし議員(5番目)
 - ①摂津市の財政状況と住民のくらしについて
 - ②摂津市の職場環境の改善について
 - ③摂津市の南海トラフ地震対策について
 - ④生活福祉資金・緊急小口貸付の申請の簡素化について
- 安藤かおる議員(8番目)
 - ①鳥飼地域のまちづくりと学校統合について
 - 学校統合が人口減少に拍車をかけないか
 - 地域コミュニティの拠点として
 - 防災の拠点として
 - ②PFOA汚染問題について
 - 自治体として市民の健康と環境を守る責任について
 - 汚染者の責任について
 - 太中浄水場2号井戸において高濃度のPFOAが検出されたことについて

ぜひ、議会傍聴においでください。また、質問している時間にインターネットで同時配信しますので、パソコン、スマホで視聴できます。

<今後の議会日程>

9/26	本会議-一般質問
27	本会議-一般質問
28	議会役員選挙
29	議会役員選挙

- ひろ豊議員(14番目)
 - ①安心安全な学校給食について
 - 小学校給食について
 - 現在の中学校給食について
 - 2026年開始の全員喫食の中学校給食について
 - 学校給食費の値上げ据え置きと無償化について
 - ②学童保育事業について
 - ③気候危機打開へ市が率先してすべき取組について
 - ④自殺予防対策と心の健康について

残暑厳しいですが、体調管理をしっかりと。
市政に対するご意見、暮らしの相談など、お気軽にご連絡ください

増永
わき



別府2-22-22
TEL090-9254-7643

ひろ
豊



千里丘東5-11-6-302
TEL090-3976-5963

安藤
かおる



鳥飼野々3-24-3
TEL090-1919-3951

野口
ひろし



昭和園8-11-108
TEL090-7095-4929

裏面に国会議員団
のPFOA調査団
の赤旗記事を紹介
しています。



地域住民から説明を受ける（手前右から）かわそえ、清水、長岡ゆりこ元大阪市議、山下、山添の各氏＝14日、大阪府摂津市

しんぶん赤旗
2023.9.15付

PFOA汚染 山下氏ら調査

大阪・摂津 ダイキンは明らかにせよ

ダイキン工業淀川製作所周辺での有機フッ素化合物PFOA（PFASの一種）汚染について、日本共産党PFAS問題対策委員会は14日、製作所のある大阪府摂津市を現地調査しました。同市内では2021年、地下水から環境省が定める暫定目標値の600倍のPFOAが検出され、市議会では国に健康影響調査や疫学調査を求める意見書を採択しました。

調査には対策委員会の山下芳生、山添拓両参院議員と、宮本たけし衆院議員、清水ただし衆院近畿比例候補（大阪4区重複）、かわ

そえたつま衆院大阪7区候補、党摂津市議団、「PFOA汚染問題を考える会」の市民らも参加しました。淀川製作所のすぐ近くで家の畑を手伝う男性（32）は、「小学生の頃、用水路の水が汚くて、ハウレンソウやコマツナの畑に井戸水を使っていた。致命的だった」と悔やみます。農林水産省から農産物の調査を受けた男性（78）は、「問題になったのだからダイキンはいろいろと明らかにしてほしい。それが大企業のあるべき姿だと思う」と話しました。

製作所で働いていた元社員が参加し、「PFOAを製造していた従業員への健康問題も大きいのではないかと。しかしダイキンは従業員に何も知らせていない」と述べました。

山下氏は、「環境行政の原点は水俣病。行政が健康調査などやるべきことをせず、公害になった。同じことを繰り返していいのがPFOAの問題で問われている」と話しました。

摂津市の森山一正市長とも懇談。市長は「この問題は党派関係なくやる必要がある。国が血中濃度の基準をつくってほしい」と要望。山添氏が「市が企業と結んでいる環境保全協定を活用してダイキンに情報提供を求めている」と提起したのに対し、市長は「大事なことだ」と応じました。

市長と懇談する党 PFAS 問題対策委員会と摂津市会議員団

